



# The free charters

## 概要

**世界中から各国政府が集まる国連総会では、貧困の撲滅と持続可能な開発に向けて、優先して取り組むべき世界的課題についての話し合いが行われますが、その中心には、子どもの参加がなければなりません。世界のリーダーたちが選んだ世界で生きていくのは子どもたちなのですから、子どもたちの考えを聞き、それに基づいて行動することは不可欠です。**

過去数年にわたって、政府・国連・市民社会の側から、さまざまな国・地域の市民・地域社会の意見を聞くため、前例がないほどの努力が重ねられてきました。国連が主導したものだけでも、子どもや若者を含む世界中の 300 万人の市民が、次の開発目標の優先課題について自身の考えを述べる機会を得ることができました。

こうした継続中の努力に加えて、チャイルド・ファンド・アライアンスは、子どもたちの声、特に、最も脆弱で社会から疎外されている子どもたちの声が、各国の中央政府や国連の意思決定者に届けられるように活動してきました。

2013 年、チャイルド・ファンド・アライアンスは「子どもたちの小さな声 大きな夢」の一環として、47 カ国、6,500 人の子どもたちに面接を行いました。国連が実施しているマイ・ワールド調査に従って、自分と家族にとって大切なことや、子どもに対する暴力について、世界のリーダーたちにしてもらいたいことの順位付けを行いました。

さらに、チャイルド・ファンド・アライアンスは 41 の国でフォーカス・グループ・ディスカッション調査を行いました。この調査には 1,300 人の子どもたちが参加し、暴力と搾取について、地球的な次の優先課題について、自分たちの考えを話し合いました。調査結果は 2013 年に報告書として発表されています。

続くこの報告書では、40 カ国、50 回以上の話し合いに 2,300 人もの子どもたちが参加し、持続可能な開発に向けた将来の優先課題と、自分たちの希望について話を聞きました。子どもたちには次のような質問がなされました。

1. 次の世界的開発目標には、何を残すべきだと思いますか？
2. 次の世界的開発目標には、何を付け加えるべきだと思いますか？
3. 自然環境を良くするためにできることがあるとしたら、あなたは何をしますか？
4. これら問題に関して、あなたの国のリーダーにしてもらいたいことは何ですか？
5. このような目標や行動について、どのように評価したらいいと思いますか？

以上の質問についてグループごとに全員で話し合ったあと、子どもたちの中から選ばれた代表の 2 名がファシリテーターの助けを借りながら、ポスト 2015 年の開発課題についての子ども憲章の草案をつくりました。チャイルド・ファンド・アライアンスはこの草案をまとめて、分析しました。以上の内容はすべて、報告書に掲載されています。

子どもたちが考える優先事項は、国や地域を越えて、とても明確でした。

・ミレニアム開発目標によって始めた取り組みをやめてはならず、すべての優先事項は次の発展の枠組みにおいても継続されるべきだと、子どもたちは考えています。

・「子どもに対する暴力」についてはミレニアム開発目標には含まれていませんでしたが、ポスト 2015 年開発目標には含まれるべきです。参加国の 82%で、子どもたちは、この問題が次の開発目標の一つとして加えられるべきであり、特に、いじめ、児童労働、早期婚、子どもの人身売買、体罰、女性性器切除 (FGM)、軍隊や武装グループへの徴用、学校での暴力を終わらせることを望んでいます。

・教育と保健医療における質の確保・普及もまた、子どもたちにとって重要です。子どもたちは、教育と保健医療のミレニアム開発目標をさらに続けてほしいと願っています。また、男性と女性、子どもと大人、区別されることなくすべての人たちが質の高い教育と保健医療を享受できるよう、政府が保証することを望んでいます。

・多くの木が、切られるよりも植えられることを子どもたちは望んでいます。有害物質の使用を減らしてリサイクルを進めること、温室効果ガスの放出を減らして空気をきれいにするのを望んでいます。

・子どもたちは、次世代の開発目標のモニタリングにかかわりたいと望んでいます。また、地域社会に直接かかわり、コミュニティレベルでの変化を評価することの大切さも認識しています。

調査に参加した子どもたちは、ポスト 2015 年の開発アジェンダのモニタリングのために、以下のようなさまざまな指標を提案しました。

### 全体についての指標

- ・子どもへの暴力がメディアで取り上げられているか
- ・子どもへの暴力がコミュニティレベルで意識されているか
- ・子どもへの暴力に取り組む予算と計画があるか

### 子どもの取り組みと参加についての指標

- ・子どもが生産的な市民に成長できるか
- ・生活に影響することを、子ども自身が決定できるか

### 子どもへの暴力についての指標

- ・コミュニティ内での暴力や争いがあるか
- ・子どもへの暴力を防止するキャンペーンがあるか
- ・子どもへの暴力事件があるか
- ・子どもへの暴力犯に対する罰則があるか

### 教育についての指標

- ・コミュニティ内に学校があるか
- ・子どもの就学状況
- ・女の子の就学状況
- ・子どものテストの成績
- ・子どもが中等教育を修了できるか
- ・熟練の先生が教えているか
- ・学校で汚職事件があるか
- ・大人が読み書きできるか

### 保健についての指標

- ・病院があるか
- ・保健施設に医薬品があるか
- ・出産時の妊産婦の死亡率
- ・治療可能な疾病で命を落とす子どもの数

### 雇用についての指標

- ・雇用された人の数
- ・卒業後に職が見つからない青年の数

### ベーシック・ニーズの充足についての指標

- ・コミュニティの所得水準
- ・家庭に十分な食料があるか
- ・電気にアクセスできるか
- ・安全な水にアクセスできるか
- ・子どもに住む家があるか

### 環境保護についての指標

- ・植林された木の数
- ・樹木の乱伐の割合
- ・森林破壊が減ったか